

一宮市水道事業ガイドライン

一宮市上下水道部計画調整課

平成23年作成

安心：すべての国民が安心しておいしく飲める水道水の供給

a) 水資源の保全

項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
1001	水源利用率 (%) (一日平均配水量/確保している水源水量)×100	79.2	79.5	80.2	水源のゆとり度や効率性を表す指標。高いほど水源を効率的利用。
1002	水源余裕率 (%) [(確保している水源水量/一日最大配水量)-1]×100	10.9	9.9	9.2	水源のゆとり度や効率性を表す指標。水源確保の安全度を表す。
1003	原水有効利用率 (%) (年間有効水量/年間取水量)×100	94.7	94.4	94.0	取水した原水の有効利用度を表す指標。高い比率ほど有効的。
1004	自己保有水源率 (%) (自己保有水源水量/全水源水量)×100	69.9	70.1	70.1	水源運用の自由度や渇水時に融通性を表す指標。
1005	取水量1m ³ 当たり水源保全投資額(円/m ³) 水源保全に投資した費用/その流域からの取水量	0	0	0	水源保全に対する取組状況を表す指標。

b) 水源から給水栓までの水質管理

項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
1101	原水水質監視度(項目) *監視頻度が月1回より少ない項目数 原水水質監視項目数	* 70	* 70	* 70	原水監視の取組状況を表す指標。
1102	水質検査箇所密度(箇所/100km ²) (水質検査採水箇所数/給水区域面積)×100	5.3	5.3	5.3	給水区域内の水質検査を毎日行う箇所数を表す指標。
1103	連続自動水質監視度(台/(1000m ³ /日)) (連続自動水質監視装置設置数/一日平均配水量)×1000	0.052	0.052	0.051	連続自動水質監視装置の設置数を表す指標。
1104	水質基準不適合率 (%) (水質基準不適合回数/全検査回数)×100	0	0	0	水道水の安全性を表す指標。基本的には0%でなければならない。
1105	カビ臭から見たおいしい水達成率 (%) [(1-ジェオスミン最大濃度/水質基準値)+(1-2-メチルイソボルネオール最大濃度/水質基準値)]/2×100	75	80	75	水質基準を満たしたうえで、カビ臭に関する水質基準の達成度を表す指標。
1106	塩素臭から見たおいしい水達成率 (%) [1-(年間残留塩素最大濃度-残留塩素水質管理目標値)/残留塩素水質管理目標値]×100	75	50	75	水質基準を満たしたうえで、残留塩素濃度から見たおいしい水の要件の達成度を表す指標。
1107	総トリハロメタン濃度水質基準比 (%) (総トリハロメタン最大濃度/総トリハロメタン濃度水質基準値)×100	28	44	34	水質基準値に対する総トリハロメタン濃度最大値の割合を表す指標。低い率ほど望ましい。
1108	有機物(TOC)濃度水質基準比 (%) 注:H21年4月より基準値が強化 (有機物最大濃度/有機物水質基準値)×100	19	注 31	27	水質基準値に対する最大有機物濃度の割合を表す指標。低い率ほど望ましい。

項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
1109	農薬濃度水質管理目標比 (%) $\Sigma (x_i / X_i) / n \times 100$ <i>x_i</i> : 各農薬の給水栓での年間測定最大濃度 <i>X_i</i> : 各農薬の管理目標値 <i>n</i> : 水道事業体の水質検査計画書に記載の農薬の数	0	0	0	各農薬の水質基準値である管理目標値に対するそれぞれの農薬最大濃度の割合を対象農薬数で除した数値を表す指標。低い率ほど望ましい。
1110	重金属濃度水質基準比 (%) $\Sigma (x_i / X_i) / 6 \times 100$ <i>x_i</i> : 各重金属の給水栓での年間測定最大濃度 <i>X_i</i> : 各重金属の水質基準値	10	12	12	水銀及びヒ素等の6種類の重金属の基準値に対するそれぞれの最大濃度の割合を平均値で表す指標。低い率ほど望ましい。
1111	無機物質濃度水質基準比 (%) $\Sigma (x_i / X_i) / 6 \times 100$ <i>x_i</i> : 各無機物質の給水栓での年間測定最大濃度 <i>X_i</i> : 各無機物質の水質基準値	23	22	20	アルミニウム、塩化物イオン等の6種類の無機物質の基準値に対するそれぞれの最大濃度の割合を平均値で表す指標。
1112	有機物質濃度水質基準比 (%) $\Sigma (x_i / X_i) / 4(3) \times 100$ <i>x_i</i> : 各有機物質の給水栓での年間測定最大濃度 <i>X_i</i> : 各有機物質の水質基準値	12	0	0	4種類(1種類は平成16年4月の水質基準改正で追加)の有機物の基準値に対するそれぞれの最大濃度の割合を平均値で表す指標。低い率ほど望ましい。
1113	有機塩素化学物質濃度水質基準比 (%) $\Sigma (x_i / X_i) / 9 \times 100$ <i>x_i</i> : 各有機塩素化学物質の給水栓での年間測定最大濃度 <i>X_i</i> : 各有機塩素化学物質の水質基準値、又は管理目標値	2	1	1	9種類(水質基準項目7種類、水質管理目標2種類)の有機塩素化学物質の基準値に対するそれぞれの最大濃度の割合を平均値で表す指標。低い率ほど望ましい。
1114	消毒副生成物濃度水質基準比 (%) $\Sigma (x_i / X_i) / 5(3) \times 100$ <i>x_i</i> : 各消毒副生成物の給水栓での年間測定最大濃度 <i>X_i</i> : 各消毒副生成物の管理目標値	8	7	5	5種類(2種類は平成16年4月の水質基準改正で追加)の消毒副生成物の基準値に対するそれぞれの最大濃度の割合を平均値で表す指標。低い率ほど望ましい。
1115	直結給水率 (%) (直結給水件数/給水件数)×100	97.8	97.8	97.8	受水槽を経由せず直接給水される割合を表す指標。
1116	活性炭投入率 (%) (年間活性炭投入日数/年間日数)×100	0	0	0	粉末活性炭を投入した日数の年間割合を表す指標。
1117	鉛製給水管率 (%) (鉛製給水管使用件数/給水件数)×100	2.6	1.9	0.6	鉛製給水管が使用されている割合を表す指標。低いほうがよい。

安定：いつでもどこでも安定的に生活用水を確保

a) 連続した水道水の供給

項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
2001	給水人口一人当たり貯留飲料水量 (ℓ/人) [(配水池総容量(緊急貯水槽容量は除く)×1/2 + 緊急貯水槽容量)/給水人口]×1000	87	87	86	地震などの災害時に一人 当たり確保している飲料 水の状況を表す指標。地 震直後では一人一日3ℓ必 要とされる。
2002	給水人口一人当たり配水量 (ℓ/日/人) (一日平均配水量/給水人口)×1000	313	312	312	給水人口一人当たりの水 の消費量を表す指標。
2003	浄水予備力確保率 (%) [(全浄水施設能力-一日最大浄水量)/全浄水施設能力]×100	26.3	20.8	24.1	全浄水施設能力でどの程 度の余裕があるかを表す 指標。
2004	配水池貯留能力 (日) 配水池総容量/一日平均配水量	0.55	0.55	0.55	配水池総容量が平均配水 量の何日分かを表す指 標。
2005	給水制限数 (日) 年間給水制限日数	0	0	0	一年間で何日給水制限を したかを表す指標。
2006	普及率 (%) (給水人口/給水区域内人口)×100	96.2	96.2	97.3	給水区域内で水道を使っ ている人の割合を表す指 標。
2007	配水管延長密度 (km/km ²) 配水管延長/給水区域面積	20.3	20.4	20.6	給水区域面積1km ² 当た りの配水管延長を表す指 標。
2008	水道メータ密度 (個/km) 水道メータ総数/配水管延長	54	54	54	配水管1km当たりの水道 メータ数を表す指標。

b) 将来への備え

項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
2101	経年化浄水施設率 (%) (法定耐用年数を超えた浄水施設能力/全浄水施設能力)×100	7.3	7.3	7.3	法定耐用年数(60年)を超 えた浄水施設の割合を表 す指標。
2102	経年化設備率 (%) (経年化年数を超えている電気・機械設備数/電気・機械設備の総数)×100	29.9	27.8	29.4	経年化年数(10~20年)を 超えた電気・機械設備の 占める割合を表す指標。
2103	経年化管路率 (%) (法定耐用年数を超えた管路延長/管路総延長)×100	7.1	7.6	9.6	法定耐用年数(40年)をこ えた管路延長の割合を表 す指標。
2104	管路の更新率 (%) (更新された管路延長/管路総延長)×100	1.42	1.43	1.84	年間で更新した管路延長 の割合を表す指標。
2105	管路の更生率 (%) (更生された管路延長/管路総延長)×100	0	0	0	年間で更正(内面補修)し た管路延長の割合を表す 指標。

項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
2106	バルブの更新率 (%) (更新されたバルブ数/バルブ設置数)×100	2.68	2.83	2.49	年間で更新したバルブ数の割合を表す指標。
2107	管路の新設率 (%) (新設管路延長/管路総延長)×100	0.39	0.39	0.30	年間で新設した管路延長の割合を表す指標。

c) リスクの管理

項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
2201	水源の水質事故数 (件) 年間水源地水質事故件数	0	0	0	水源の有害物質による水質汚染回数を表す指標。
2202	幹線管路の事故割合 (件/100km) (幹線管路の事故件数/幹線管路延長)×100	0	0	0	幹線管路(400mm以上)の事故件数を表す指標。
2203	事故時配水量率 (%) (事故時配水量/一日平均配水量)×100	95.7	95.2	94.2	最大浄水場が事故で24時間停止した時、配水できる水量の割合を表す指標。
2204	事故時給水人口率 (%) (事故時給水人口/給水人口)×100	0	0	0	最大浄水場が事故で24時間停止した時、給水できない人口の割合を表す指標。
2205	給水拠点密度 (箇所/100km ²) (配水池・緊急貯水槽数/給水区域面積)×100	37.7	37.7	37.7	緊急時に応急給水できる貯水拠点数を表す指標。
2206	系統間の原水融通率 (%) (原水融通能力/受水側浄水能力)×100	9.6	9.6	9.6	他系統からの融通可能な原水水量の割合を表す指標。
2207	浄水施設耐震率 (%) (耐震対策の施されている浄水施設能力/全浄水施設能力)×100	45.3	45.3	45.3	浄水施設の耐震化の状況を表す指標。
2208	ポンプ所耐震施設率 (%) (耐震対策の施されているポンプ所能力/全ポンプ所能力)×100	53.9	54.0	54.0	ポンプ所の耐震化の状況を表す指標。
2209	配水池耐震施設率 (%) (耐震対策の施されている配水池容量/配水池総容量)×100	42.9	42.9	55.3	配水池の耐震化の状況を表す指標。
2210	管路の耐震化率 (%) (耐震管延長/管路総延長)×100	3.5	4.1	4.6	耐震性の材質と継手による管路延長の状況を表す指標。
2211	薬品備蓄日数 (日) 平均薬品貯蔵量/一日平均使用量	38.2	26.4	24.9	浄水場で使う薬品が何日分貯蔵してあるかを表す指標。
2212	燃料備蓄日数 (日) 平均燃料貯蔵量/一日使用量	0.6	0.6	0.6	自家発電用燃料が何日分貯蔵してあるかを表す指標。
2213	給水車保有度 (台/1000人) (給水車数/給水人口)×1000	0	0	0	給水人口1000人当たりの給水車台数を表す指標。
2214	可搬ポリタンク・ポリパック保有度 (個/1000人) (可搬ポリタンク・ポリパック数/給水人口)×1000	20.5	20.5	28.0	緊急時に使用できる可搬ポリタンク・ポリパックの保有数を表す指標。

項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
2215	車載用の給水タンク保有度 (m ³ /1000人) (車載用給水タンクの総容量/給水人口)×1000	0.11	0.11	0.10	緊急時に使用できる車載用給水タンクの総容量を表す指標。
2216	自家用発電設備容量率 (%) * 全施設の平均値 (自家用発電設備容量/当該設備の電力総容量)×100	* 57.6	* 58.2	* 57.7	自家用発電機の容量が当該設備の必要電力に対する割合を表す指標。
2217	警報付施設率 (%) (警報付施設数/全施設数)×100	100.0	100.0	100.0	異常時に警報の発せられる施設数の割合を表す指標。
2218	給水装置の凍結発生率 (件/1000件) (給水装置の年間凍結件数/給水件数)×1000	0	0.007	0.042	給水装置の凍結被害発生件数を表す指標。

持続：いつまでも安心できる水を安定して供給

a) 地域特性にあった運営基盤の強化

項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
3001	営業収支比率 (%) (営業収益/営業費用)×100	112.0	112.8	113.8	営業収益の営業費用に対する割合を表す指標。比率が高いほど良好。
3002	経常収支比率 (%) [(営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)]×100	99.2	100.5	101.6	経常収益の経常費用に対する割合を表す指標。100%以上が望ましい。
3003	総収支比率 (%) (総収益/総費用)×100	99.1	100.4	101.5	総収益の総費用に対する割合を表す指標100%以上が望ましい。
3004	累積欠損金比率 (%) [累積欠損金/(営業収益-受託工事収益)]×100	0	0	0	累積欠損金の営業収益(受託工事収益を除く)に対する割合を表す指標。
3005	繰入金比率(収益的収入分) (%) (損益勘定繰入金/収益的収入)×100	0.5	0.5	1.1	収益的収入における他会計からの繰入金を表す指標。
3006	繰入金比率(資本的収入分) (%) (資本勘定繰入金/資本的収入)×100	1.1	3.8	3.9	資本的収入における他会計からの繰入金を表す指標。
3007	職員一人当たり給水収益 (千円/人) (給水収益/損益勘定所属職員数)/1000	52,607	52,600	53,448	損益勘定所属職員一人当たりの生産性を表す指標。大きいほど生産性高。
3008	給水収益に対する職員給与費の割合 (%) (職員給与費/給水収益)×100	17.2	17.1	16.3	職員給与費の給水収益に対する割合を表す指標。低いほど事業効率高。
3009	給水収益に対する企業債利息の割合 (%) (企業債利息/給水収益)×100	13.2	12.1	11.9	企業債利息の給水収益に対する割合を表す指標。低いほうがよい。
3010	給水収益に対する減価償却費の割合 (%) (減価償却費/給水収益)×100	35.7	35.9	36.3	減価償却費の給水収益に対する割合を表す指標。低いほうがよい。
3011	給水収益に対する企業債償還金の割合 (%) (企業債償還金/給水収益)×100	21.8	22.5	21.7	企業債償還金の給水収益に対する割合を表す指標。低いほうがよい。
3012	給水収益に対する企業債残高の割合 (%) (企業債残高/給水収益)×100	518.6	510.0	498.3	企業債残高の給水収益に対する割合を表す指標。低いほうがよい。
3013	料金回収率 (%) (供給単価/給水原価)×100	97.0	98.8	99.2	供給単価の給水原価に対する割合を表す指標。
3014	供給単価 (円/m) 給水収益/有収水量	124.0	124.4	124.5	有収水量1m当たりの売り上げ高を表す指標。
3015	給水原価 (円/m) [経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+附帯事業費)]/有収水量	127.8	125.9	125.5	有収水量1m当たりどれだけ費用がかかっているかを表す指標。

項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
3016	1箇月当たり家庭用料金(10m ³) (円) 1箇月当たりの一般家庭用(口径13mm)の基本料金 +10m ³ 使用時の従量料金	606	606	606	口径13mmの給水管で1ヶ月に10m ³ の水を使用した料金を表す指標。
3017	1箇月当たり家庭用料金(20m ³) (円) 1箇月当たりの一般家庭用(口径13mm)の基本料金 +20m ³ 使用時の従量料金	1,746	1,746	1,746	口径13mmの給水管で1ヶ月に20m ³ の水を使用した料金を表す指標。
3018	有収率 (%) (有収水量/給水量)×100	92.2	92.0	91.3	有収水量の年間給水量に対する割合を表す指標。高いほうがよい。
3019	施設利用率 (%) (一日平均給水量/一日給水能力)×100	66.9	67.1	67.9	一日平均給水量の一日給水能力に対する割合を表す指標。
3020	施設最大稼働率 (%) (一日最大給水量/一日給水能力)×100	76.2	76.9	77.5	一日最大給水量の一日給水能力に対する割合を表す指標。
3021	負荷率 (%) (一日平均給水量/一日最大給水量)×100	87.9	87.3	87.5	一日平均給水量の一日最大給水量に対する割合を表す指標。
3022	流動比率 (%) (流動資産/流動負債)×100	486.9	571.3	616.0	短期債務に対する支払能力を表す指標。高いほうが安全性高。
3023	自己資本構成比率 (%) [(自己資本金+剰余金)/負債・資本合計]×100	43.9	45.2	46.8	総資本に対する自己資本の割合を表す指標。高いほうがよい。
3024	固定比率 (%) [固定資産/(自己資本金+剰余金)]×100	204.5	198.7	191.0	自己資本がどの程度固定資産に投下されているかを表す指標。低いほうがよい。
3025	企業債償還元金対減価償却費比率 (%) (企業債償還元金/当年度減価償却費)×100	61.0	62.7	59.8	投下資本の回収と再投資の間のバランスを表す指標。低いほうがよい。
3026	固定資産回転率 (回) (営業収益-受託工事収益) /[期首固定資産+期末固定資産]/2]	0.12	0.11	0.12	固定資産が期間中に営業収益によって何回回収されたかを表す指標。大きいほうがよい。
3027	固定資産使用効率 (m ³ /10000円) (給水量/有形固定資産)×10000	10.0	10.0	10.0	有形固定資産に対する1年間の給水量を表す指標。大きいほうがよい。

b) 水道文化・技術の継承と発展

項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
3101	職員資格取得度 (件/人) 職員が取得している法定資格数/全職員数	1.00	1.00	1.00	職員が一人当たり持っている法定資格の件数を表す指標。
3102	民間資格取得度 (件/人) 職員が取得している民間資格取得数/全職員数	0.07	0.07	0.07	職員が一人当たり持っている民間資格の件数を表す指標。

項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
3103	外部研修時間(時間) (職員が外部研修を受けた時間・人数)/全職員数	2.3	2.5	2.8	職員一人当たりの外部研修を受けた時間数を表す指標。
3104	内部研修時間(時間) (職員が内部研修を受けた時間・人数)/全職員数	3.1	3.1	3.1	職員一人当たりの内部研修を受けた時間数を表す指標。
3105	技術職員率(%) (技術職員総数/全職員数)×100	47.8	48.7	49.6	技術職員総数の全職員に対する割合を表す指標。
3106	水道業務経験年数度(年/人) 全職員の水道業務経験年数/全職員数	19.2	18.5	19.1	職員が平均何年水道業務に携わっているかを表す指標。
3107	技術開発職員率(%) (技術開発業務従事職員数/全職員数)×100	0	0	0	技術開発業務に従事する職員数の割合を表す指標。
3108	技術開発費率(%) (技術開発費/給水収益)×100	0	0	0	技術開発業務に対する投資費用を表す指標。
3109	職員一人当たり配水量(m ³ /人) 年間配水量/全職員数	368,000	368,000	372,000	職員一人当たりの配水量を表す指標。
3110	職員一人当たりメータ数(個/人) 水道メータ総数/全職員数	1,088	1,098	1,109	職員一人当たりの水道メータ数を表す指標。
3111	公傷率(%) [(公傷で休務した延べ人・日数)/(全職員数×年間公務日数)]×100	0	0	0	年間、職員一人当たり公傷で平均何日休務したかを表す指標。低いほうがよい。
3112	直接飲用率(%) (直接飲用回答数/直接飲用アンケート回答数)×100	データなし	データなし	データなし	アンケートにおいて、水道水を直接飲用していると回答した人の割合を表す指標。

c) 消費者ニーズをふまえた給水サービスの充実

項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
3201	水道事業に係わる情報の提供度(部/件) 広報誌配布部数/給水件数	3.1	3.1	3.0	広報誌配布部数の給水件数に対する割合を表す指標。
3202	モニタ割合(人/1000人) (モニタ人数/給水人口)×1000	0.0	0.0	0.0	給水人口1000人当たりのモニタ人数を表す指標。
3203	アンケート情報収集割合(人/1000人) (アンケート回答人数/給水人口)×1000	データなし	データなし	データなし	給水人口1000人当たりのアンケート回答人数を表す指標。
3204	水道施設見学者割合(人/1000人) (見学者数/給水人口)×1000	3.4	3.2	2.9	給水人口1000人当たりの水道施設見学者数を表す指標。
3205	水道サービスに対する苦情割合(件/1000件) (水道サービス苦情件数/給水件数)×1000	1.23	1.46	1.75	給水件数1000件当たりの水道サービス苦情件数を表す指標。

項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
3206	水質に対する苦情割合 (件/1000件) (水質苦情件数/給水件数)×1000	0.84	0.85	0.41	給水件数1000件当たりの水質苦情件数を表す指標。
3207	水道料金に対する苦情割合 (件/1000件) (水道料金苦情件数/給水件数)×1000	0	0	0	給水件数1000件当たりの水道料金に関する苦情件数を表す指標。
3208	監査請求数 (件) 年間監査請求件数	0	0	0	法令に基づき水道事業に関して監査請求された件数を表す指標。
3209	情報開示請求数 (件) 年間情報開示請求件数	1	1	2	法令に基づき水道事業に関して情報開示請求された件数を表す指標。
3210	職員一人当たり受付件数 (件/人) 受付件数/全職員数	206	217	214	職員一人当たり何件受け付けたかを表す指標。

環境：環境保全への貢献

a) 地球温暖化防止、環境保全などの推進

項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
4001	配水量1m ³ 当たり電力消費量 (kWh/m ³) 全施設の電力使用量/年間配水量	0.30	0.31	0.31	配水量1m ³ 当たりの電力消費量を表す指標。
4002	配水量1m ³ 当たり消費エネルギー (MJ/m ³) 全施設での総エネルギー消費量/年間配水量	1.15	1.15	1.18	配水量1m ³ 当たりの電力・燃料等のエネルギー消費量を表す指標。
4003	再生可能エネルギー利用率 (%) (再生可能エネルギー設備の電力使用量 / 全施設の電力使用量) × 100	0	0	0	水道事業の中で行っている再生可能エネルギー(太陽光発電等)の使用割合を表す指標。
4004	浄水発生土の有効利用率 (%) (有効利用土量/浄水発生土量) × 100	0	0	0	浄水場で発生する土を廃棄処分せず有効利用している割合を表す指標。
4005	建設副産物のリサイクル率 (%) (リサイクルされた建設副産物量/建設副産物排出量) × 100	54.6	65.9	49.5	水道工事で発生する土、アスファルト、コンクリート等を廃棄処分せず再利用している割合を表す指標。
4006	配水量1m ³ 当たり二酸化炭素(CO ₂)排出量 (g・CO ₂ /m ³) [総二酸化炭素(CO ₂)排出量/年間配水量] × 10 ⁶	146	133	134	配水量1m ³ 当たりの二酸化炭素排出量を表す指標。

b) 健全な水循環

項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
4101	地下水率 (%) (地下水揚水量/水源利用水量) × 100	53.7	53.2	52.7	水道原水として取水した地下水の量を表す指標。

管理：水道システムの適正な実行・業務運営及び維持管理

a) 適正な実行・業務運営

項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
5001	給水圧不適正率 (%) [適正な範囲になかった圧力測定箇所・日数 / (圧力測定箇所総数 × 年間日数)] × 100	0	0	0	配水管の圧力を測定する地点において適正な給水圧の範囲になかった測定地点・日数の割合を表す指標。
5002	配水池清掃実施率 (%) [最近5年間に清掃した配水池容量 / (配水池総容量 / 5)] × 100	376	366	363	最近5年間に清掃した配水池容量の割合を表す指標。
5003	年間ポンプ平均稼働率 (%) [ポンプ運転時間の合計 / (ポンプ総台数 × 年間日数 × 24)] × 100	50.9	51.1	51.9	1年間にポンプがどの程度稼働しているかを表す指標。
5004	検針誤り割合 (件/1000件) (誤検針件数 / 検針総件数) × 1000	0.068	0.042	0.055	検針に関する誤りの件数の割合を表す指標。
5005	料金請求誤り割合 (件/1000件) (誤料金請求件数 / 料金請求総件数) × 1000	0.10	0.12	0.05	料金請求に関する誤りの件数を表す指標。
5006	料金未納率 (%) (年度末未納料金総額 / 総料金収入額) × 100	9.9	9.8	9.6	年度末の未納料金総額の割合を表す指標。
5007	給水停止割合 (件/1000件) (給水停止件数 / 給水件数) × 1000	2.6	2.6	2.4	料金の未納により給水停止を実施した件数を表す指標。
5008	検針委託率 (%) (委託した水道メータ数 / 水道メータ総数) × 100	100.0	100.0	100.0	検針を委託した水道メータ数の割合を表す指標。
5009	浄水場第三者委託率 (%) (第三者委託した浄水場能力 / 全浄水場能力) × 100	0	0	0	浄水場の運転管理を第三者委託した割合を表す指標。

b) 適正な維持管理

項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
5101	浄水場事故割合 (10年間の件数/箇所) 10年間の浄水場停止事故件数 / 浄水場総数	0	0	0	浄水場が過去10年間に事故で送水が停止した件数を表す指標。
5102	ダクタイル鋳鉄管・鋼管率 (%) [(ダクタイル鋳鉄管延長 + 鋼管延長) / 管路総延長] × 100	36.3	36.2	36.3	ダクタイル鋳鉄管と鋼管の延長の割合を表す指標。
5103	管路の事故割合 (件/100km) (管路の事故件数 / 管路総延長) × 100	5.5	5.9	5.3	管路の100kmに対する事故件数を表す指標。
5104	鉄製管路の事故割合 (件/100km) (鉄製管路の事故件数 / 鉄製管路総延長) × 100	3.9	5.2	5.1	鉄製管路の100kmに対する事故件数を表す指標。
5105	非鉄製管路の事故割合 (件/100km) (非鉄製管路の事故件数 / 非鉄製管路総延長) × 100	6.4	6.3	5.3	非鉄製管路の100kmに対する事故件数を表す指標。

項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
5106	給水管の事故割合(件/1000件) (給水管の事故件数/給水件数)×1000	2.4	2.0	1.5	給水管の給水件数1000件に対する事故件数を表す指標。
5107	漏水率(%) *は不確実の値 (年間漏水量/年間配水量)×100	* 4.3	* 4.6	* 5.1	年間配水量の内、漏水した水量の割合を表す指標。
5108	給水件数当たり漏水量(m ³ /年/件) *は不確実の値 年間漏水量/給水件数	* 12.9	* 13.7	* 15.2	給水件数1件当たりの年間漏水量を表す指標。
5109	断水・濁水時間(時間) (断水・濁水時間×断水・濁水区域給水人口)/給水人口	0.0005	0.0002	0.0013	断水・漏水の全給水人口に対する時間割合を表す指標。
5110	設備点検実施率(%) (電気・計装・機械設備等の点検回数/電気・計装・機械設備の法定点検回数)×100	203	204	205	電気・機械等の点検した回数の法定点検回数に対する割合を表す指標。100%以上でなければならない。
5111	管路点検率(%) (点検した管路延長/管路総延長)×100	0	0	0	管路総延長に対する管路点検率を表す指標。
5112	バルブ設置密度(基/km) バルブ設置数/管路総延長	13.9	14.2	14.3	管路1km当たりに設置されたバルブの数を表す指標。
5113	消火栓点検率(%) (点検した消火栓数/消火栓数)×100	100.0	100.0	100.0	点検を行った消火栓の総数に対する割合を表す指標。
5114	消火栓設置密度(基/km) 消火栓数/配水管延長	1.7	1.7	1.7	配水管1km当たりに対する消火栓の設置数を表す指標。
5115	貯水槽水道指導率(%) (貯水槽水道指導件数/貯水槽水道総数)×100	1.0	1.5	0.8	貯水槽水道に対して行った調査・指導の件数を表す指標。

国際：我が国の経験の海外移転による国際貢献

a) 技術の移転

項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
6001	国際技術等協力度(人・週) 人的技術等協力者数×滞在週数	0	0	0	海外に水道技術等協力した人数と滞在週を表す指標。

b) 国際機関、諸国との交流

項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
6101	国際交流数(件) 年間人的交流件数	0	0	0	水道事業のため海外へ出かけた人及び来日した人の件数を表す指標。